

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

宇和島市立岩松小学校 校長 武内 和也

1. 単元名 「未来に伝えたい岩松の宝」

2. 単元の目標

- ・ 岩松の自然環境や歴史環境、文化環境について理解するとともに、歴史上の人物の思いや、出来事に込められた願いを感じ取ることができる。
- ・ ICTを活用して調べたことをまとめ、分かりやすくプレゼンすることができる。
(知識・技能)
- ・ 岩松の自然環境や歴史環境、文化環境について調べる学習について見通しを持ち、課題解決のための計画を立てることができる。
- ・ 課題解決に向けて、計画に沿って必要な情報を収集し、正確に記録することができる。
- ・ 情報の意味をとらえて必要なものを選び、複数の情報の間にある関係を見つけることができる。
- ・ 情報をもとに、自分の考えを分かりやすくまとめ、相手によりよく伝わるように工夫して発表することができる。
(思考・判断・表現)
- ・ 友達と協働して情報収集に取り組むとともに、友達の発表を聞いて、進んで自分の意見を述べるすることができる。
- ・ ゲストティーチャーと積極的に交流し、自分たちにできることを考え、実行しようとしている。
(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

校区には広さ 13.3 ヘクタールを誇る日本庭園の南楽園があり、四季折々のイベントが行われている。校区の中央には岩松川が流れ、春先にはシラウオ漁が行われている。また、岩松地区の町並みは、世界各国の歴史的建造物や文化遺産の保全活動に取り組むアメリカのワールドモニュメント財団に、“その存続が危ぶまれる世界遺産リスト”の一つに選ばれている。このように、校区は、豊かな自然環境や歴史環境、文化環境などの宝庫である。本単元では、校区の自然環境や歴史環境、文化環境を調べる活動を通して、未来に伝えたい岩松の宝を学校自慢CMとしてまとめさせる。

(2) 児童観

SDG s についてのアンケートを昨年4月に実施した結果、「SDG s のことを知らない」と答えた児童が70%、「SDG s という言葉を聞いたことはあるけれど、何なのかは知らない」と答えた児童が24%、「SDG s について知っているし、何なのか大まかに説明できる」と答えた児童はわずか6%であった。新学習指導要領においては、「持続可能な社会の創り手」に必要な資質・能力を育成することが掲げられており、ESD（持続可能な開発のための教育）の視点からSDG s に関する教育活動を進め、未来を拓く力を身に付けさせる必要がある。

児童の多くは、岩松地区の町並みが、“その存続が危ぶまれる世界遺産リスト”の一つに選ばれていることを知らないなど、身近にある様々な環境の素晴らしさを見過ごしたり、その存続に対しても他人事のように思ったりしている。また、このような児童の実態から、児童が岩松の豊かな自然環境や歴史環境、文化環境などに関わり、地域とつながることで、ふるさとの素晴らしさに気付かせ、ふるさとを愛する心を育てたいと考えた。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず、ゲストティーチャーを招いて、岩松の自然環境や歴史環境、文化環境について講話をしてもらい、身近にある様々な環境の素晴らしさに気付かせる。

次に、自分たちが調べてみたい岩松の宝について、調べる計画を立て、町誌やパンフレット、インターネットなどを使って調べ学習を行う。

その後、ゲストティーチャーに同行してもらい、グループに分かれて岩松の町並みや小西本家などを訪問し、実際に見学することで歴史的建造物や文化遺産の素晴らしさを実感させ、自分が感じた素晴らしさを他の人にも伝えようとする意欲を高める。

さらに、調べたことをグループごとにまとめた内容を、交流がある広島県の小学校に紹介するとともに、学校自慢CMとして映像にまとめる。

これらの活動を通して、持続可能なふるさと岩松を創るためには、自分は何ができるかを子どもたちに考えさせたい。

(4) ESDとの関連

・ 本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

多様性・・・岩松地区には川や海や山の豊かな自然の恵みや歴史的価値がある建物がある。

相互性・・・たくさんの人がつながって、岩松の町並みを保存している。

責任性・・・私たちが持続可能な岩松の町を創る責任がある。

・ 本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

コミュニケーションを行う力

岩松地区の魅力を地域の大人にインタビューする活動や友達との意見交流を通して、コミュニケーション力を高める。

つながりを尊重する力

岩松地区の魅力を地域の大人に紹介してもらう活動を通して、人とつながることの大切さを知る。

未来像を予測して計画を立てる力

持続可能なふるさと岩松の未来を創るために自分が何をできるかを考え、計画を立てる。

他者と協力する力

岩松の歴史について、グループで調べる活動を通して、他者と協力する力を高める。

進んで参加する態度

岩松にある様々な宝について、自分から進んで調べようとする態度を育てる。

・ 本学習で変容を促す ESD の価値観

自然環境や生態系保全を重視する

環境に配慮した生活をするすることで、岩松の川や海、山の豊かな自然を守ることができる。

幸福感を大切にする

都会のように遊園地はなくても、豊かな自然や古い町並みのある岩松の素晴らしさを実感し、幸せを感じる。

・ 達成が期待できる SDG s

11 住み続けられるまちづくりを

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

17 パートナリーシップで目標を達成しよう

4. 単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ)思考力・判断力・表現力等	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
<p>①岩松の自然環境や歴史環境、文化環境について理解するとともに、歴史上の人物の思いや、出来事に込められた願いを感じ取ることができたか。</p> <p>②ICTを活用して調べたことをまとめ、分かりやすくプレゼンすることができたか。</p>	<p>①岩松の自然環境や歴史環境、文化環境について調べる学習について見通しを持ち、課題解決のための計画を立てることができたか。</p> <p>②課題解決に向けて計画に沿って必要な情報を収集し、正確に記録することができたか。</p> <p>③情報の意味をとらえて必要なものを選び、複数の情報の間にある関係を見つけることができたか。</p> <p>④情報をもとに、自分の考えを分かりやすくまとめ、相手によりよく伝わるように工夫して発表することができたか。</p>	<p>①友達と協働して情報収集に取り組むとともに、友達の発表を聞いて、進んで自分の意見を述べることはできたか。</p> <p>②ゲストティーチャーと積極的に交流し、自分たちにできることを考え、実行しようとしているか。</p>

5. 単元の指導計画（全 40 時間）

次	主な学習活動（○） 児童の思考（・）	学習への支援（○）	評価（△） 備考（・） 各教科との関連（※）
1	<p>○ ゲストティーチャーから、岩松の自然環境や歴史環境、文化環境について講話を聴き、身近にある様々な環境の素晴らしさに気付かせる。</p> <p>・ 岩松には歴史的な建物がたくさんあるんだな。</p> <p>・ 岩松の町並みが世界的に価値があるなんて驚いた。</p>	<p>○国語科「聞いて考えを深めよう」で学習したことを活かしてインタビューできるように、インタビューする時のポイントを児童に提示し、確認させる。</p>	<p>△ア1 （知識・技能）</p> <p>△ウ2 （主体的）</p> <p>※ 国語科「聞いて考えを深めよう」</p>
2	<p>○ 自分たちが調べてみたい岩松の宝について調べる計画を立てる。</p> <p>・ 小西本家について調べてみたい。</p> <p>・ 土居の奥で何をしていたのかな。</p> <p>・ 大畑旅館に行ってみたいな。</p>	<p>○学校自慢CMとして、岩松の宝を映像にまとめるというゴールを示すことで、岩松の自然環境や歴史環境、文化環境について調べる学習について見通しを持たせる。</p>	<p>△イ1 （思・判・表）</p>
3	<p>○ 町誌やパンフレット、インターネットなどを使って調べ学習を行う。</p> <p>○ ゲストティーチャーに同行してもらい、グループに分かれて岩松の町並みや小西本家などを訪問する。</p>	<p>○岩松図書館や津島商工会などにも協力してもらい、町誌やパンフレットを準備しておく。</p> <p>○コミュニティ・スクール協力員の協力により、グループに分かれて現地での調べ学習を行わせる。</p>	<p>△イ2 （思・判・表）</p> <p>△ウ1 （主体的）</p> <p>△ウ2 （主体的）</p>
4	<p>○ 調べたことをグループごとにまとめる。</p> <p>○ 交流がある広島県の小学校に、まとめた岩松の宝を紹介する。</p> <p>・ 波多見小にも素敵な宝があるな。</p> <p>○ 調べた内容を学校自慢CMとして映像にまとめる。</p> <p>・ 岩松の宝をいろんな人に知ってもらいたいな。</p>	<p>○ICTを活用して調べたことを分かりやすくまとめさせる。</p> <p>○Zoomを利用して、お互いの校区にある宝物を紹介し、交流を図る。</p> <p>○宇和島ケーブルテレビの協力を得て、学校自慢CMを作成させる。</p>	<p>△ア2 （知識・技能）</p> <p>△イ3 （思・判・表）</p> <p>△イ4 （思・判・表）</p> <p>※ 国語科「情報と情報をつなげて伝えるとき」</p>